

第14回

- 講演者：福永 知則 氏 (九州産業大学)
 - 題目：動標構を用いた特異点論を持つ曲線及び曲面の研究
 - 日時：平成29年10月27日（金）16:30 – 17:30

正則曲線の微分幾何学においては、動標構を用いて曲率を定義する方法が古くから知られており、曲率と曲線の性質の様々な関係が研究されている。本講演では、特異点を持つ曲線に対して動標構及び曲率を定義し、その幾何学的な性質や応用について紹介する。更に、その高次元化である枠付き曲面の微分幾何学と、その特異点論への応用についても紹介する。本講演は高橋雅朋氏（室蘭工業大学）との共同研究に基づくものである。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

5 images

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2017/014>

Last update: **2017/11/16 18:19**

